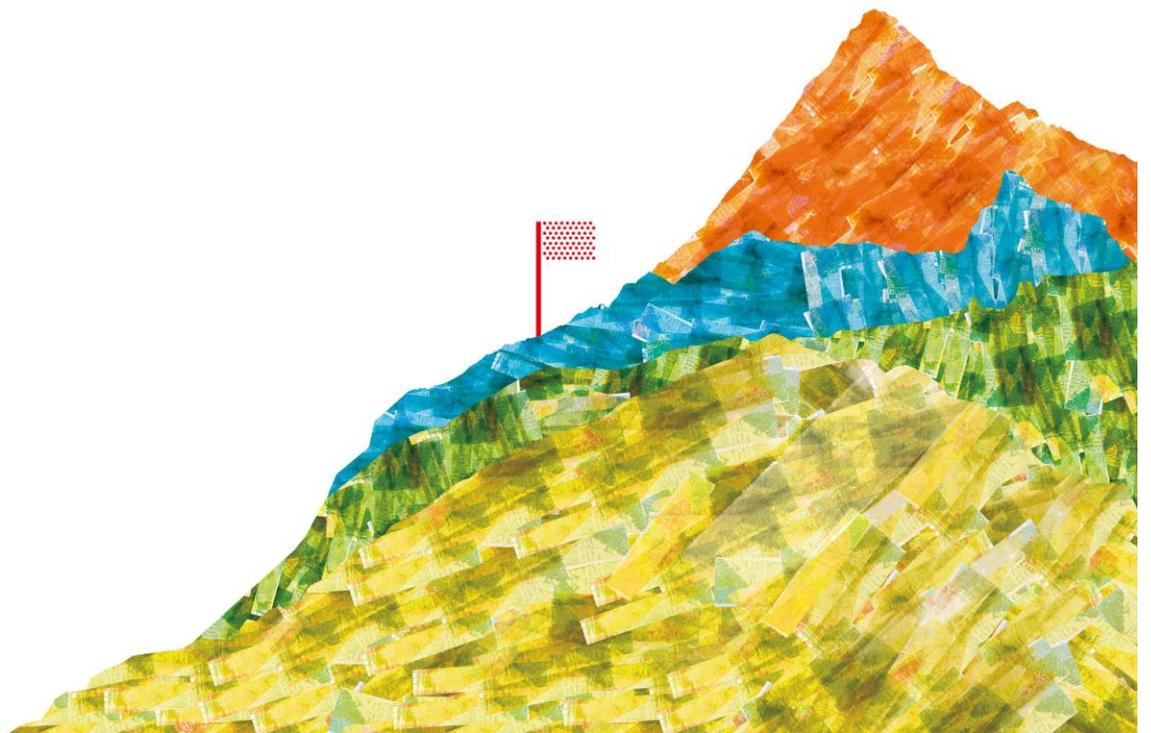


令和5年度 事業報告書

(さかいエリア)



社会福祉法人 こうほうえん

令和5年度事業報告書（さかい エリア）

- 1 令和5年度総括（成果、反省等を簡単に）
 - 1) 保険者情報を常時把握し、境港市の介護市場の動向を確認。他法人の事業所の業務縮小や廃止などから、さかいエリアを考察し戦略を探った。
 - 2) 住民の相談窓口が、地域包括支援センターに集中する現状を受け、さかいエリアの各事業所も気軽な窓口であるということをチラシ作成し周知することに努めた。
 - 3) 新型コロナウイルス感染症による、様々な制限を順次解除していった。地域との絆を再構築できつつある。しかしながら、施設においては、家族との面会制限がある中であっては、これを上回る解除に踏み切ることは、ご家族の理解を得ることは困難な状況と判断せざるを得ない現状となっている。

- 2 トピックス（新規事業、重点実施事業等（独自で実施している地域貢献活動含む））
 - 1) 鳥取県から「移住アドバイザー」の委託を受ける
 介護老人保健施設さかい幸朋苑 森原翼（介護福祉士）
 「移住アドバイザー」の役割は、鳥取県への移住者向けに、県の魅力ある情報発信やイベント活動を通して地域での暮らしを伝えること、移住相談も受けています。またPR活動を通して新たな移住者の発掘、きっかけづくりなども担います。
 - 2) さかい特養で「ノーリフティングコンテスト」の表彰式を実施。
 表彰式は各チームにとって感慨深いものとなり、チーム・事業所の絆を一層強めることとなった。
 - 3) 地域活動に参加
 - ・「境港市フォトコンテスト2023」に応募
 境港市は「境港市フォトコンテスト2023」を開催し、外国人から見た境港市のいいところ、好きなところの写真を募集し(テーマ:私が見た境港)、グエン・ティ・フォン・タオさん(ベトナム技能実習生)が「優秀賞」に選ばれました。
 - 4) 地域への職員の講師派遣
 - ・職業講話

- 1 キャリアアップトーク・・・(令和6年2月 境港市立第一中学校)
 第1学年を対象に、2年生で実施される職場体験の活動意欲を高め、働くことの意義や望む職業、自己の生き方について自身の向上意欲につなげることを目的に実施され、2名の介護士が講師を務めました。
- 2 介護職理解促進事業(令和6年1月 境港市立第一・第二・第三中学校)
 第1学年を対象に、中学生が将来の職業選択のひとつとして介護職を考えるきっかけづくりとして、今年度も境港市が取り組む「介護職理解促進事業」に主任相談員が講師を務めました。
- 3 介護の魅力を発信(令和5年9月/10月 令和6年2月 境港市立第二中学校)
 第1学年を対象に、「総合的な学習の時間」において、境港市で活躍する大人との交流

を通して、自分の将来の見通しを持つような探求活動に取り組むことを目的に実施され、2名の介護士が講師を務めました。

4 科目「生活支援技術」（令和6年2月 県立境港総合技術高等学校）

「中国地区高校生介護技術コンテスト」に向け、適切な介護技術を用いて安全に支援できる技術と基本的態度について伝えました。また、「校内介護技術コンテスト」の審査員も務めました。

外国人材の理解を深めるパネルディスカッション（令和6年3月24日夢みなとタワー）境港市が主催する外国人技能実習制度をテーマとした映画の上映会と境港市内の事業所で働く外国人によるパネルディスカッションが開催され、新さかい幸朋苑からメンディー・シャルメイン・マソングソングさん（フィリピン出身）が登壇しました。

3 エリア目標の達成度合とその評価（戦略会議の資料等）

- 1) 事故、ご意見はエリア調整会議で情報共有しているが 同じようなミスでのご意見や服薬に関する報告は昨年よりも増加。「最終確認」の不徹底が主な原因となっていることから、改善に向けた仕組み作りを強化していく必要がある。
- 2) 各拠点のBCPは完成したので活用しやすいものになっているか確認が必要。業務の棚卸しは継続し働きやすいサービス提供体制の構築を目指す。次世代育成として職員に研修等の講師を振り分ける。(B)
- 3) 勤怠管理システムの運用については、給与大臣との連携が徐々に進んでいる。現在の課題を抽出し本部へ相談中。課題として新職員・新管理者への使用方法の説明に手間がかかるため、簡単な説明書類（職員管理者ともに）を作成し配布予定。紙資料の削減は全体で7件（ページ数の減やPC上での管理へ切替等）大規模修繕はさかい特養エレベーターが完了。その後も本部管財担当と相談しながら計画中。
- 4) 現在行っているホームページのエリア活動報告やインスタグラムを活用は定着しており、継続して情報発信を行っていく。ボランティア活動が活発に行えるように感染症対応を鑑みながらではあるが次年度計画を立てていく。中学高校への出前授業は目標値を大きく達成できている。管理職だけでなくリーダー層の派遣を行う事業所もあり次世代育成に繋がる取り組みとなっている。広報活動についても公民館祭りへの参画を中心に目標を達成しているが、地域行事への参加や地域貢献への取り組みに課題を感じている事業所もあるため、エリアとして地域とどう関わっていくか検討していく余地がある。(B)

4 入所系事業所（デイハウスは登録人数）の稼働率の推移（稼働率：小数点第1位）

事業所名	定員(人)	令和5年度(%)	令和4年度(%)	令和3年度(%)
特養さかい	90	97.7	97.8	97.7
特養新さかい	64	98.5	98.6	98.3
特養みなと	29	96.5	99.1	97.5
老健さかい	50	90.0	90.6	93.2
ケアハウス	50	90.8	89.6	91.6
生活支援ハウス	20	79.1	86.2	91.3
グループホームみなと	9	96.3	97.4	99.2
グループホームひので	18	98.5	98.7	98.0
グループホームあがりみち	18	99.2	97.8	97.3
デイハウスあがりみち	29	68	90	87.0
デイハウスせいどう	29	71.4	89.7	90.3
デイハウスわたり	29	81.3	83.9	91.0

5 各エリアの取り組み実績

年間行事一覧	○新さかい開苑記念(6月)○上道地区敬老会(9月)○上道8区合同納涼祭(地域合同)(8月)○年末行事(12月)○みなと幸朋苑10周年開苑式典(11月)
BCP等訓練実施状況	○感染症対応BCPさかいエリア事業所完了 ○自然災害対応BCPさかいエリア事業所完了 ○消防・防災避難訓練実施 ○自動火災通報設備対応実施
エリア内研修状況	○リスク○ポジショニング○感染症(食中毒)○身体拘束適正化・虐待予防(アンガーマネジメント初級編)○認知症○リスク(窒息事故対応方法)○感染症(種類と対応方法)○看取り ○介護保険○身体拘束適正化・虐待予防(自己を振り返る)○コンプライアンス○睡眠とメンタルヘルス○急変時の対応○救命救急(2回)○摂食・嚥下(2回)○口腔ケア○アクティビティ○防災時の対応(2回)○リーダーのためのコーチング
エリア内会議、委員会活動	【月例】 ○エリア調整会議 ○部門会議 ○在宅会議 ○看護師会 ○主任会 ○もったいない委員会 ○栄養士会 ○衛生委員会 ○リスクマネジメント委員会 ○内部監査委員会 ○感染および褥瘡予防対策委員会(1回/隔月) ○身体拘束適正化・虐待予防委員会(1回/隔月) ○虐待防止委員会(招集時)○ノーリフティング推進委員会(1回/隔月) ○研修委員会○リーダー会○安全対策委員会○基本ケア委員会(1回/隔月)○ケアプラン委員会(1回/隔月)○事務連絡会 【定例】 ○ふれあいの橋の会 ○運営推進会議(1回/隔月) ○福祉サービス苦情解決第三者委員会(2回/年)

<p>委員会活動等の 成果・実績・反省</p>	<p>【もったいない委員会】</p> <p>委員による集合開催ではなく、事業責任者間（エリア調整会議メンバー）で毎月使用量データを共有、要因分析している。令和5年度実績として、対前年電気使用量は横ばい、水道とガスは減少となる見込み。省エネの意識は身につけているといえる。</p> <p>（内部監査）</p> <p>エリア内部監査員を3班制とし、班長と副班長を選出。内部監査、横断内部監査、サーベイランスをそれぞれの班が担当。効率的に監査業務が行えた。</p> <p>【リスクマネジメント委員会】</p> <p>「誤薬」防止に向け委員が中心となり、マニュアルに沿った服薬が行えているか抜き打ちチェックを実施しフィードバックを行った。前年度との比較では、表皮剥離7%減、ご意見3%増であり内服薬関連は全体の17%を占め変化はない。服薬の定義について看護師会と協働し見直しを行うことができた。（さかい発信）法人全体で窒息事故が多く挙げられたことを受け、STによる研修(窒息予防)を年2回開催、嚥下の機能や危険性について学び理解が深まり、食事形態の見直しや環境整備に繋がった。報告原因は「確認不足」「思い込み」が主であり都度注意喚起を図ったが同様の報告が多かった。最終確認のルール等を定着していく仕組み作りが今後の課題。</p> <p>【ノーリフティング推進委員会】</p> <p>福祉用具(スライディングボード/リフト/フレックスボード)の使用方法をテスト形式での集合研修1回、出前講座2回(5事業所に対応)、ノーリフティングケアの進捗状況の確認(ラウンドや相談)を2事業所に実施。エリア推進委員会開催による情報共有も年2回実施する。福祉用具の使用率は令和6年度3月末時点で92.2%達成。前年度を上回る。事故発生報告も1件(座り直し時の腋窩内出血)。骨折など3レベル以上の報告なし。以上のことから基準書を用いて、安全で効果的な使用を共有し、実践に繋がる活動ができた。今後も重大事故防止のため、基本を忠実に実践していくよう働きかけが必要。また、福祉用具の使用だけでなく「押す、引く、持ち上げる、ねじる、運ぶ」などの作業姿勢や環境についても課題の抽出と改善を行い腰痛予防など働きやすい環境の整備をすすめていく。</p>
-----------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6 人財状況

<p>外部研修等講師派遣実績</p>	<p>○境港市立第一中学校「総合学習 キャリアアップトーク」 ○YMCA 米子医療福祉専門学校 介護福祉士科 ○美作大学鳥取県就職懇談会卒業生講演 ○境港市包括支援センター介護教室</p>
<p>外部役職就任状況</p>	<p>○境港市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会委員 ・・浜田 壮 ○境港市介護保険運営協議会委員・・浜田 壮 ○境港市社会福祉協議会理事・・浜田 壮 ○境港総合技術高校学校運営協議会委員・・浜田 壮 ○境港市養護老人ホーム入所判定委員会委員・・渡部信之 ○JPDネットワーク協会会長・・中嶋健児 (JPD=日本パーソナルセンターケア・ディメンシアケアマッチングマップ) ○鳥取県歯科衛生士会副会長・・香川由美 ○鳥取県西部歯科衛生士会会長・・香川由美</p>
<p>外部表彰受賞状況</p>	<p>○県社協会長表彰 (社会福祉施設功労者) 稲田 英子主任 (ホームヘルプ) 景山 克彦主任 (地域包括支援センター) ○県知事表彰 福井 真奈美係長 (地域密着型介護老人福祉施設)</p>

7 地域貢献実績 (保育園含む)

<p>実習受け入れ実績 延人数 213人</p>	<p>○YMCA 米子医療福祉専門学校「作業療法士科臨床実習」 ○県立境港総合技術高等学校「介護実習」 ○松江総合医療専門学校「見学実習」 ○境港市立第二中学校「職場体験学習」 ○姫路医療専門学校「臨床実習」 ○宝塚医療大学社会福祉士一般養成課程 (通信制) 「ソーシャルワーク実習」 ○米子医療センター附属看護学校「地域・在宅看護論実習Ⅱ」</p>
<p>ボランティア受け入れ実績 延人数 31人</p>	<p>○入居者ご家族、デイサービスご利用者 『みなとガーデン』ブラッシュアップ ○角バンド「昭和歌謡曲の演奏」 ○境港総合技術高等学校「納涼祭」・「夏祭り」補助 ○境公民館長「習字」</p>
<p>見学受け入れ実績 実人数 8人</p>	<p>○ご利用者・ご家族</p>

<p>地域交流活動実績 1 <u>実施回数 4回</u> <u>実人数 54人</u> <u>延人数 54人</u></p>	<p>(事業所内又はこうほうえんが主催した交流事業) ○境港市立あがりみち保育園・境ひまわり保育園「お花交流」 ○航空自衛隊美保基地隊員「餅つき大会」 ○家族会「総会&ドキュメンタリー映画」14 ○境港市わたり保育園「歌、踊り」</p>
<p>地域交流活動実績 2 <u>実施回数 4回</u> <u>実人数 66人</u> <u>延人数 66人</u></p>	<p>(地域の交流事業に利用者と共に参加したもの) ○境港市ことぶきクラブ連合会「演芸発表会」20 ○上道地区交流納涼祭 35 ○境港市敬老会 6 ○上道地区ソフトバレー大会 5</p>
<p>ボランティア・環境 活動等の実参加者数</p>	<p>(ボランティア・環境活動等に1回でも参加した職員数) 37人 / エリア職員数 ○上道地区ソフトバレー大会 ○みなとまちマーケット ○よなご幸朋苑 敬老会 秋祭り ○なんぶ幸朋苑 秋祭り ○誠道公民館まつり ○上道公民館まつり ○皆生シーサイドマラソン (大漁太鼓) ○皆生トライアスロン ○市民運動会 (上道地区) 救護係</p>
<p>ボランティア・環境 活動参加実績 1 <u>実人数 11人</u></p>	<p>(清掃活動・消防団活動・地域防災活動等) ○(全社協) 能登半島震災派遣 ○誠道地区一斉清掃</p>
<p>ボランティア・環境 活動参加実績 2 <u>投入実人数 1人</u></p>	<p>(見守り活動・学校活動の手伝い等) ○上道校区 見守り活動</p>
<p>地域発信活動実績 (介護、看護の日、 イベント開催等)</p>	<p>実績なし</p>
<p>地域発信活動実績(認知症サポーター養成講座、地域包括支援センターのみの活動は除く)</p>	<p>回数、養成者数、資格者投入人数は、必ず記入してください。</p>

地域発信活動実績 (講習会、講演会の主催及び参加等、地域包括支援センターのみの活動は除く)	実績なし
--------------------------------------------------	------

8 その他報告事項

事故の発生状況 (レベル3以上の事故)	こうほうえん事故レベル定義		年間件数
	レベル3	事故の為、医療機関での継続的な治療が必要になった場合	30件
	レベル4	事故により、障がいが残った場合	0件
	レベル5	事故が死因となった場合	0件
虐待及び身体拘束の状況	(実人員、延日数、簡単な状況を記載) 高齢者虐待防止法に定める「虐待の疑い」があると判断し、市町村へ通報した事案はありませんでした。		
感染症の集団発生状況(保健所報告分)	(報告日、収束日、感染者数を記載) さかい老健：報告日 R5. 12. 19・収束日 R6. 1. 10 感染者数 23名 さかいDS：：報告日 R6. 2. 16・収束日 R6. 3. 1 感染者数 8名		
ご意見	設備に関する苦情	職員に関する苦情	感謝のご意見
	1 件	7 件	0 件



社会福祉法人 こうほうえん

令和6年6月12日

社会福祉法人こうほうえん

〒684-0063 鳥取県境港市誠道町 2083 番地

法人本部事務局

〒683-0853 鳥取県米子市両三柳 1400

TEL (0859) 24-3111 FAX (0859) 24-3111
